

南会津町前沢(福島県)

(1) 保存地区の概要

地区名	南会津町前沢
種別	山村集落
面積	13.3ヘクタール
選定年月日	平成23年6月20日

南会津町前沢は、集落のほとんどの建物を焼失した明治40年の大火後に周辺地域の大工の手により一斉に再建され、現在でも当時の家屋に人々が生活しているのが大きな特徴である。

家屋（主屋）は、茅葺屋根でその構造から直家とL字型の中門造（曲家）に分類され、中門造が多くを占めている。

中門造は、かつて家族同様に大切にされてきた農耕馬と人が一緒に生活する構造となっており、妻面には、明かり取りの窓、梁と貫の木組み、前包の彫刻、狐格子など意匠性の高い造りとなっている。

旧館岩村では、昭和50年代より都市との交流事業の展開による「自然環境と共存の地域開発」を目指しており、昭和60年には環境美化条例を制定。昭和63年、前沢集落を特別風致地区に指定し茅葺屋根の保存を図ってきたところである。

平成23年6月20日、それまでの保存の取り組みが認められ重要伝統的建造物群保存地区に選定されたことにより、平成28年には、全国町並みゼミが開催されたほか、ドラマのロケ地に活用されるなど広く注目を集めている。

また、集落の前沢景観保存会によって薬師様まつりや歳の神などの伝統行事や岩魚つかみどり、田島祇園祭屋台歌舞伎の上演などのイベントが開催されるなど、集落組織の活性化につながっている。

選定による
効果



(2) 保存地区のあゆみ

明治40年(1907)	大火により全戸消失。その後1年で一斉に再建され、現在の家並みが形成。
昭和60年(1985)	館岩村環境美化条例を制定。
昭和62年(1987)	国土庁主催 第2回アメニティーコンクール最優秀に選ばれ「住みよい村日本一」となる。
昭和63年(1988)	環境美化条例により「風致地区」に指定以後、補助事業による曲家の保存を開始
平成5年(1993)	第15回山本有三記念「郷土文化賞」受賞 第1回美しい日本のむら景観コンテスト全国土地改良事業団体連合会長賞受賞
平成12年(2000)	建設省「手作り郷土賞」受賞
平成17年(2006)	田島町、館岩村、伊南村、南郷村が合併し、南会津町が誕生(平成18年3月20日)
平成18年(2006)	前沢曲家集落保存対策調査を実施(～平成21年度)
平成23年(2011)	重要伝統的建造物群保存地区に選定
平成27年(2015)	防災対策計画策定調査を実施(～平成28年度調査、平成29年度策定)
平成28年(2016)	第39回 全国町並みゼミ 大内・前沢大会開催

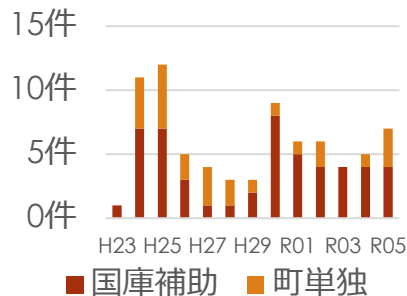
南会津町前沢(福島県)

(3) 保存地区の保存と整備

◎保存事業の推移

国庫補助: 茅葺屋根の修理事業を実施している。

町単独: 保存計画に基づいた腰壁の修理、鉄板葺屋の塗装を実施している。



【保存事業実施件数の推移】



修理前

修理後

【修理事業の例】

◎修景事業の推進

保存地区の修景を推進するため、保存地区内の町有特定物件「そば処曲家」をモデルとした修景事業実施を検討中。

修景方法は、アルミサッシュから木製建具への転換を軸に検討中。

◇木製建具検討のポイント

- ・ 伝建地区における建物の外観の歴史的風致の維持向上を図る木製建具であること。
- ・ 厳冬期にマイナス20度になる館岩地区において、気密、断熱の性能に配慮した寒冷地仕様の木製建具であること。
- ・ 前沢集落の高齢者でも操作がしやすい木製建具であること。
- ・ 地元建具店が製作できる木製建具とし、建具の製作や取付け、メンテナンスが地元で継続的に行える建具であること。



【そば処曲家のアルミサッシュ】

南会津町前沢(福島県)

(4) 保存地区の活用とまちづくり

南会津町前沢は、人々の暮らしが息づく伝建地区として、豊かな自然とゆったりと流れる時間の中で、観光に訪れる方々に日本の原風景を楽しんでいただいている。

◎前沢曲家資料館について

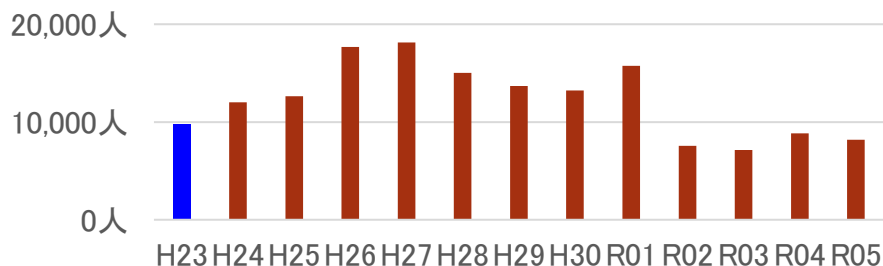
- ・ 観光でお越しいただいたお客様へのおもてなし拠点施設
- ・ 昔の曲家における暮らしや風俗を来館者に紹介
- ・ 前沢ふるさと公園とともに、前沢景観保存会の指定管理として住民の手により運営している。(期間:毎年4月中旬～11月中旬)



【前沢曲家資料館外観】



【内部の様子】



【前沢曲家資料館入込数の推移】



【前沢ふるさと公園のアヤメ】



うつくしまの音30景に選定
【水車とバッテリー小屋】

◎「そば処曲家」について

- ・ 館岩地域の地粉を使ったそばを提供
- ・ 町の第三セクター「たていわ農産」に指定管理され運営



【そば処曲家のそば】

南会津町前沢(福島県)

(5) 住民等の取組

◎おもてなし案内人(ガイド)の取り組み

- 平成26年度、ふくしまデスティネーションキャンペーンを契機に、案内人の研修会を開催したほか機材を整備し、「おもてなし案内人」の体制を整備した。
- 平成27年、おもてなし案内人によるガイド体制が始動した。
- 現在、9名の案内人が、ツアー旅行や教育旅行などで予約に応じてガイド活動を行っている。

令和元年度	1, 392人
-------	---------

令和2年度	112人
-------	------

令和3年度	159人
-------	------

令和4年度	1, 060人
-------	---------

令和5年度	771人
-------	------

【案内人利用者数の推移】



【案内人によるガイドの様子】

◎古民家カフェの開設

- 前沢交流館の活用による集落活性化と、将来における特定建造物活用を模索するため景観保存会が運営。
- 現在は、試験的に休日を中心にカフェとして営業している。
- 前沢ならではのこだわりのメニューやおもてなしの体制づくりを進めている。



【前沢交流館外観】



【直売所を開設】

◎集落主催イベントの開催

- 前沢景観保存会では、誘客による賑わいづくりのみならず、集落行事として集落内の融和と結束を図るため、年間を通してイベントを開催している。
- 平成26年、薬師様まつりを50年ぶりに復活させたほか、夏休み帰省の子どもたちを対象としたイワナつかみどりや、田島祇園祭屋台歌舞伎上演など新たな取り組みが始まっている。
- イベントでは、毎回、集落ぐるみで郷土料理「ばんでいもち」や焼きはっとう、イワナの塩焼きを販売しているが、前沢曲家まつりでは、例年、工科大学の学生らに協力をいただくなど、イベントの度に地域外からもファンが訪れており、人々の繋がりが広がりはじめている。

5月上旬	薬師様まつり
------	--------

8月中旬	イワナつかみどり
------	----------

9月中旬	田島祇園祭屋台歌舞伎上演
------	--------------

10月下旬	前沢曲家まつり
-------	---------

1月中旬	歳の神
------	-----

【地区における主な年間イベント】



【イワナつかみどり】



【田島祇園祭屋台歌舞伎上演】